



谷川俊太郎の「春に」という詩がある。小学校六年生の国語の教科書に出てくるものである。一節を書き出してみる。

春になると思い出す詩に、
この気持ちなんだろう
心の先ふくらんだ新芽が
よるこびだ
しかし悲しみでもある
いらだちだ
しかも安らぎがある
あこがれだ

27年度も終わる。いよいよ春休みだ。先日は新しい教科書も購入した。机の周辺や本棚を整理し、新しい年度に向けて、誓いを新たにしたい。

25日から春休み

19日の新入生招集日には、本校に入学を決めた生徒たちが集まった。三月一日の卒業式で三年生を送り出し、寂しさの残る学校だったが、一機に、にぎやかになった。どんな歴史を刻んでくれるのだろうか。ワクワクする。

週刊 かわら版

生徒と保護者のための

いよいよ修了式



そしていかりが隠れている心のダムにせきとめられよどみ渦まきせめぎあいいまあふれようとするこの気持ちはなんだろう

将来への明るい展望や期待がある一方、将来への不安感や焦燥感そして複雑な思春期の内の世界を表現している。高校生も同じような不安感や焦燥感があるのではない。悩んでいる時、ああでもない、こうでもない揺れる気持ちがある。そんな時、その気持ちを三つだけ書き出してみる。すると、気持ちの整理ができるものである。

先見コーナー

3/24(木) ○修了式 ○離任式 ○飛翔の門通過式

スクールバス 12:35 発

3/25(金) ○生徒振替休日(8/31の分)

○国語・数学・英語などの各教科からは宿題が出ています。

休み明けに提出

○進路マップテストの勉強

(新三年生は進路決定の際に大きな意味を持ちます。)

4/06(水) ○平成 28 年度始業式 ※スクールバス 12:50 発

4/07(木) ○入学式 2・3年生は自宅学習

生徒補助員 8:30 体育館前に集合

4/08(金) ○平常通りに登校

○5限目着こなしセミナー 6限目新入生歓迎式

○2・3年生普通科系1~4限 実力考査(数・国)

専門系 1~4限 進路マップテスト

○1年

1~2限 LHR 2限目エゴグラム検査

3~4限 オリエンテーション

4/09(土)

4/10(日) ○e-プレ 1年 NZ 留学帰国

次のかわら版【1号】 通算37号は

4月7日(木)に発行を予定しています。

祝

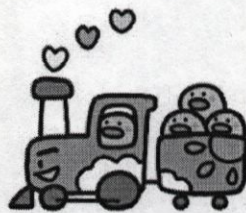
JR高架化

谷山駅・慈眼寺駅

平成20年に始まったJRの立体連続交差事業(高架化)、それに伴い谷山駅、慈眼寺駅も近代的な駅舎へ

高架化は谷山地区にとつて、長年の願いであった。これに伴い15の踏切が廃止され、事故や渋滞の解消につながると期待される。この26日に運用が開始される。駅前もこれから新しい建物が建つだろう。そしてにぎやかな街並みになっていくだろう。楽しみである。

メカトロ部が3m x 8mのイルミネーションを製作した。四月末まで約40日間、谷山駅前に設置されている。12日には吹奏楽部と放送部の協力のもと、点灯式が行われた。「技ある者は技をもって」行ったボランティアである。ぜひ、駅前のイルミネーションを見てほしい。



編集後記

学習指導要領は、「年間35週を標準として授業を行う」としています。今回が36号ですので、なんとか週刊の役目を達成できたようです。

千葉ロッテマリーンズの二木投手(25年度卒)の開幕ロケーション入りが確定しました。野球ニュースや新聞のスポーツ面を見る楽しみができました。後輩にとっても大きな励みになりますね。

清流

年度末には本棚の本を処分するのが慣例になっている。書店で手にとり、買って読んだ気になって、そのまま読まなかったものもある▼病院の待合室で「人生がときめく片づけの魔法 近藤麻理恵著」という本が目とまいった。その中に、こんな一文があった。「何を持つかは、まさにどう生きるのかと同じこと。自分にとって必要なモノが見えないから、ますます不必要なモノを増やしてしま」と書いてあった。読んでいて、妙に反省させられメモをした▼私たちの周りには不要な物や情報も多い。それを大切にとっておくことに疲れてしまうこともある。いつか必要になるかもしれないと、大切にとっておき、しまいはゴミ屋敷みたくになってしまったり、あまりに多い情報のために、迷いが生じたり、本当に正しいものが何なのかを見失ってしまうこともある▼片づけをすることにより、「モノ」と向き合うことで「自分」と向き合い、自分に何が本当に必要か、何をやるべきかに気づく▼脱皮しない蛇は死ぬともいう。脱皮するには前の古いものを捨てる必要がある。さあ、新年度に切り替わる日も近い。新しいモノ、古いモノ、うまく整理してみたい。